

[第650回 大阪放送番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和4年9月15日(木) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 大阪放送 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
たつみ 都志 鎌田 雅子
上林 寛和
徳永 潔(書面参加)

放送事業者側出席者の氏名

吉田 禎宏 赤松 加枝子
宇佐見 健太

4. 議題

1) 番組審議 『清水綾音のアヤオト!』

2) その他

5. 議 事 の 概 要

議題1) 『清水綾音のアヤオト!』について、番組の企画意図と内容を説明し、番組を聴取した後意見を聞いた。

『清水綾音のアヤオト!』は、毎週金曜日 20 時 45 分～21 時 00 分に放送している、最新の音楽から生活音、環境音など様々な“音”にこだわった番組です。ゲストに食レポの達人、原田年晴アナウンサーをお迎えしています。今回ご審議いただく内容は①8月19日②7月8日③7月29日放送分です。

<各委員のご意見>

◆ラジオという音声メディアで、音のおもしろさを伝えるという、ある意味、お家芸的番組だと思った。清水綾音さんの話も軽快で、楽しさをベースとした、聞きやすい番組だった。とりわけ、③「ラジオ食レポ王になる、私はなる！」は、原田年晴アナウンサーという食レポのスペリヤリストの登場によって、食レポをめぐる音のダイナミックさを実感した。受け手にみずみずしいリンゴのシズル感、さらには食欲までも立ち上げさせる音の奥深さを、ありありと感ずることができた

◆今回の番組は少し若い人向けの番組と思いながら聴かせていただいた。清水さんのファンにとっては面白く感じる番組だとは思いますが、そうでない人達には物足りなさを感じる。最近は咀嚼音が流行しているので、原田アナウンサーの食レポコーナーは時代に合っていると思う。そこに特化してもいいのかなと感じた。

◆クイズの答えを考えている時のメトロノーム音が車の方向指示器の音に聞こえてしまったので、運転をしながらラジオで聴いている人にとっては注意が必要だなと感じた。

清水綾音さんの声は活舌が良く、聞き取りやすい。ナニオト?のコーナーでは問題のテーマ性を決めて、今日は鳥の声、など、その範疇の中でクイズの答えを考える事によってリスナーと一体化する要素が出ると思う。ビ

ミョトロクイズについては、クイズで流れた個所を含めたメロディを正解の時に流してほしい。食リポに関しては、原田アナウンサーとのやりとりに引き込まれたし、リンゴを食べた時の自分の経験とオーバーラップができた。

◆基本的にはすべて楽しく聴かせていただいた。「音にこだわる15分間です」と清水綾音さんの明るい声で聞こえるだけで、楽しい番組がこれから始まるんだと期待する。咀嚼音が昨今流行している一方で、好き嫌いはあるだろうと感じるので、配慮は必要かなと思った。

◆ラジオでしかできない面白い番組。清水さんの司会は歯切れがよく聴いて気持ちが良い。クイズの場面では一人でグルグル考えている感じるのでもう少しリスナーの興味や関心と繋げられるように話を進めて欲しい。

◆ラジオ的な番組。清水さんは絶えずディレクターと話しており、クイズコーナーに行くまで意識がリスナーに向いていない感じがする。時にはディレクターからリスナーに意識が向くよう、指示をしてもいいかもしれない。

以上